

“マナーが悪いと？ 良いと？ …”

10月31日は、ハロウィーンでした。この時期になると渋谷のスクランブル交差点付近は毎年大変な騒ぎになっていました。仮装はもちろん、飲酒、喫煙、大声を出したり、信号を守らない、喧嘩などのトラブルや痴漢、スリなどの犯罪行為も多発していました。パトカーや救急車も毎年出動していました。今年は、例年の大変さから、1週間近く前から渋谷駅のシンボル『ハチ公』を含め、スクランブル交差点付近にカバーが掛けられました。近くのコンビニなどではアルコール販売の禁止、その他にもいろいろな規制がされ、大勢の人が集まりにくいようになっていました。

なぜ、このようなことになってしまったのでしょうか。一言でいうと『マナーが悪いからです』。マナーが悪いと『規制』をされます。それでもダメな場合は『ルール（規則）』が作られます。ようするにマナーが悪いと規制やルールができてしまうので、前のように自由はなくなってしまいます。これは渋谷のハロウィーンだけではありません。プロ野球、セリーグで38年ぶりに阪神タイガースが優勝を決めた昨日、大阪の道頓堀は厳重警戒でした。近くのお店は早上がり（以前ケンタッキー・フライド・チキンのカーネルサンダーの人形？が川に投げ込まれた）、川には飛び込めないようにバリケードが作られていました（でも何人かは飛び込んでいました）。これもマナーが悪いがゆえになった結果です。

皆さんの周りはどうでしょうか、今までにマナーが悪くて、規制やルールができてしまったことはないですか？規制やルールも時には必要（安全に関わることなど）ですが、毎日の学校生活でたくさんあると生活しづらくなってしまいます。みんなが、楽しく伸び伸びと生活していくには、みんなでマナー守ることの大切さをよく考えることです。

ちなみに今年、渋谷に集まれなかった人たちは、新宿、池袋などに行ったそうです。テレビを見るとゴミが散乱していて地元の方は困っていました。来年は、この地域でも規制、ルールができるのではないのでしょうか。残念ですが・・・。

反対にマナーがいい場合はどうなるのでしょうか。規制もルールもそれほど多くは必要ありません。きっとその人たちのマナーを守ろうとするモラルに任せられるので、自由に伸び伸びと活動できることが増えてきます。以前、自分が受け持っていた硬式テニス部の生徒たちは、よく高校生と練習試合をしていました。さすがに高校生に試合でほとんど勝つことはできませんでした。ただ、この子たちはマナーがよく、礼儀正しく、よく働くので、どの学校に行っても喜ばれ、帰るときには必ず、またぜひ来てくださいと言ってもらいました。マナーがいいと自分たちの活動の場が広がり、多くの人から声を掛けてもらえ、応援されます。皆さんが、任せられ、応援される人になるか、規制される人になるかは、日ごろの生活（マナー）で決まります。